



あまっ心〜

Vol.
125

2021. 7. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)



渋川駅



みんなで育む公共交通まちづくり

- 新たな公共交通体系の構築を目指す「渋川市地域公共交通計画」
- 「上野村レンタサイクル うえりん」サービス開始しました！

【トピックス】 **ファイナル「花と緑のぐんまづくり2021 in 桐生**
～ふるさとキラキラフェスティバル～

【投稿】 **新桐生駅 駅前広場整備が完成しました**

- マーチィ'sROOM
- マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
 - マーチィ VOICE ファシリテーター紹介
 - マーチィの掲示板 『ドボクリップ ～私がキリトル土木の未来～』

【まちづくりイベント情報】 県内で行われるまちづくりに関係するイベントの紹介・お知らせ

- まち'sクリの独り言





新たな公共交通体系の構築を目指す 「渋川市地域公共交通計画」

渋川市 建設交通部 交通政策課

渋川市では、少子高齢化と人口減少が年々進行するなか、自動車に依存した生活スタイルの定着から公共交通の利用者は年々減少しており、市民の暮らしを支える移動手段のサービスの低下が危惧されています。また、高齢者が加害者や被害者になる交通事故や運転免許証の自主返納件数は増加傾向にあり、受け皿となる移動手段の確保が本市の喫緊の課題となっています。

こうした状況を踏まえ、今後の社会情勢の変化や既に顕在化している課題を解決するために、基本的な方向性や公共交通の将来像、具体的な施策を示した「渋川市地域公共交通計画」を令和3年3月に策定しました。

■ 渋川市の公共交通の現状

市町村乗合バスの利用客数は5年間で約1万人減少しており、アンケートでも市民の約80%がバスをまったく利用しないと回答しています。その一方、バスの運行を維持するためには多額の経費が掛かり、市町村乗合バスや通学バスの運行には、毎年約3億円の経費が必要となっています。また、JR渋川駅の利用者数は緩やかに減少しており、市内の8駅中、6駅が無人駅となっている状態です。

(アンケートで寄せられた市民の声)

- ・「自動車がなくて仕事や生活ができない」ので、免許は返納できない。
- ・炎天下や雨の時にバス停で待つのはつらいので、屋根をつけてほしい。
- ・路線バスの情報が分かりにくいので、見やすい路線図やホームページを作ってほしい。
- ・「運行本数の増便」や「経路の見直し」でバスは使いやすくなる。
- ・運転免許を持たない人のために、医療機関や買物の送迎が必要。
- ・電車と比べてバスの料金が安く感じるので、バスに乗ろうと思わない。
- ・交通系ICカードを利用できるようにしてほしい。

■ 渋川市が目指す公共交通の将来像

このような現状を分析し、公共交通をより良くするための課題を整理し、課題解決のための方向性、公共交通の果たすべき役割を踏まえ、渋川市が目指す公共交通の将来像を次のとおり設定しました。

「人をつなぎ、地域を結び、暮らしを支える～みんなで育む渋川の公共交通～」

鉄道及び路線バスを本市の拠点間を結ぶ幹線軸とし、バスやタクシーをはじめ、さまざまな移動手段を活用した地域内交通と連携することにより、地域の実態や住民生活に即した利用しやすい持続可能な公共交通ネットワークを構築するため、この将来像を目指した取り組みを推進します。

～人をつなぐ～

市民交流の活性化や健康の増進を図るとともに、観光客の移動の利便性や回遊性を向上させ、交流人口の増加に寄与する公共交通を目指します

～地域を結び～

中心拠点や生活拠点等のまちのままとりの実現に向けて、拠点間を結び、拠点と居住エリアを結び、コンパクトプラスネットワークによる公共交通を目指します

～暮らしを支える～

高齢者や障害者、学生等が自動車を運転できなくても、安全かつ安心して利用できる移動手段となり、市民の暮らしを支える公共交通を目指します

～みんなで育む～

住みやすく活力に満ちた渋川市の実現に向けて、行政、交通事業者をはじめ、市民、地域、企業がそれぞれの役割を担い、相互に連携し、一体となって公共交通の再編に取り組み、将来にわたり地域を支える公共交通を育んでいきます

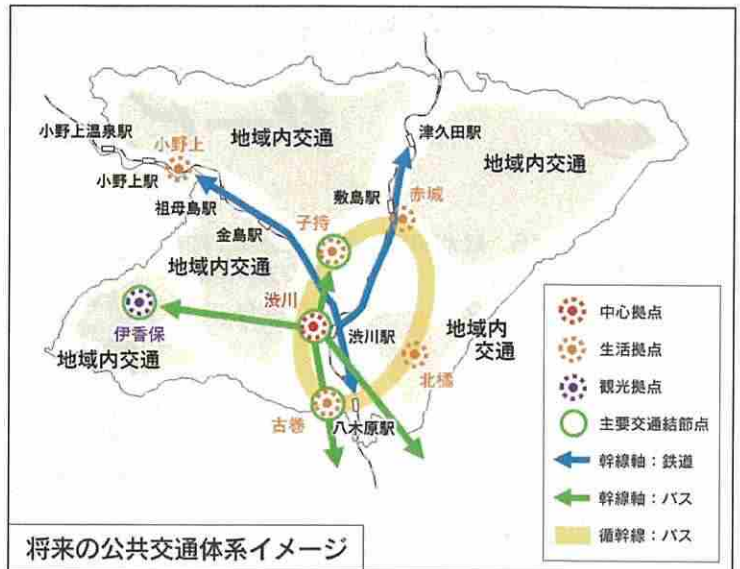




■ 渋川市の公共交通の将来像のイメージ

右の図は、総合計画や都市計画マスタープラン等に掲げる将来都市構造と、公共交通に関する課題を踏まえた、本計画の目指す公共交通体系のイメージです。

- (1) 市内の主要な拠点を結ぶバス路線や鉄道路線のサービスレベルを維持する(写真①)
- (2) 今年開業100周年を迎えるJR渋川駅や八木原駅等の鉄道駅や伊香保温泉などの観光拠点を交通の結節点とし、バスと鉄道の連携を強化する(写真②)
- (3) 既存のバス路線では網羅できない地域の移動手段を確保する
- (4) 行政センターを中心とする生活拠点と、主要な病院やスーパーを経由する循環線の導入を検討する



■ 具体的な取り組み

(1) 公共交通ネットワークの構築

幹線軸維持や地域内交通・市内循環線の導入の他、路線バスと通学バスの連携、予約型バス(デマンドバス)の試行運行に取り組みます(現在実施中)(写真③)

(2) 公共交通の利用環境の充実

バス停留所の待合環境の整備、交通拠点における乗り継ぎ情報の提供、公共交通のバリアフリー化、交通系ICカードの導入等に取り組みます

(3) 公共交通の利用促進

バスマップ等の情報発信の充実、高齢者の免許返納率の向上につながる施策の検討、バス・鉄道・タクシーの利用促進イベントやキャンペーン企画の実施に取り組みます(写真④⑤)



①伊香保温泉街と水沢地区を巡回するタウンバス



②整備計画が進むJR八木原駅

■ 計画期間

令和3年度～令和7年度(5カ年)

■ 計画の推進

本計画に掲げる達成状況を毎年度評価し、施策の改善に活用することで、効率的に事業を進めていきます。また、利用者や交通事業者等と広く意見交換を行いながら、渋川市にふさわしい新たな公共交通体系の構築を推進します。



③予約型バス(試行)出発式



④運転免許証を持たない高齢者が利用できるタクシー券



⑤公共交通と連携したアニメツーリズム事業





「上野村レンタサイクル うえりん」サービス開始しました！

(一社) 上野村産業情報センター

令和3年4月から、観光客の利便性向上および村内観光施設の周遊促進を図るため、電動アシスト自転車によるレンタサイクルサービスを開始しました。

■ サービス名

上野村レンタサイクル うえりん

■ 事業概要

上野村は、群馬県の最西南端に位置し、本村に源流のある関東一の清流「神流川」や関東山地の山々など自然豊かな山村で、人口は1,147人(令和3年5月1日現在)と県内で最も人口が少ない自治体です。

観光産業は、主要産業の一つとなっており、その売上割合が7.4%と他地域と比較すると高い状況となっていますが、以前から「観光客の村内移動手段の構築」が課題となっています。

上野村の主要な観光施設としては、関東有数の規模を誇る鍾乳洞「不二洞」、歩行者専用の吊り橋「上野スカイブリッジ」、国指定重要文化財「旧黒澤家住宅」、「道の駅上野」等がありますが、各施設が1か所に集中しておらず村内各所に点在しており、村内の交通手段が限られている現状では自動車での来村がほぼ必須の状況となっています。

そこで、路線バスや乗合タクシー等の公共交通機関で来村した方にも村内の各観光施設をできるだけ周遊していただきたいと考え、レンタサイクル事業を開始しました。

坂道の多い上野村の特性に合わせて、電動アシスト自転車7台をご用意しましたので、普段自転車に乗っていない方でも、無理なく村内を周遊していただくことができます。

■ サービス内容

貸出場所：上野村産業情報センター
(〒370-1617
群馬県多野郡上野村檜原310-1)
TEL：0274-20-7070

営業時間：9：00～17：00
(最終受付は15：00)
年中無休(年末年始はお休み、その他臨時休業あり)

貸出条件：身長151cm以上の方

利用方法・身分証明書(運転免許証、パスポート、学生証等の写真付きのもの)をご持参のうえ受付までお越しください。
・ご利用カード(別紙)へ氏名、住所、電話番号、緊急連絡先、利用目的等をご記入いただけます。
・事前予約がおすすめです。お電話でお申し込みください。※予約なしでも貸出可能です。先着順となります。

料金表(税込)

プラン	料金
4時間	1,000円
8時間	2,000円
1泊2日	3,000円
超過	500円(1時間毎)

※ヘルメット・グローブは無料貸し出し



「川の駅上野」内にある上野村産業情報センターで貸出を行っています



適応身長は151cm～なので、小柄な方でも大丈夫！



上野村の大自然を思いっきり満喫してください！



電動アシスト自転車なので、普段自転車に乗っていない方や体力に自信のない方でも安心して走れます！

■ 上野村レンタサイクルの楽しみ方

上野村でサイクリングを楽しむには、なんといっても旧道沿いのコースがおすすめです。神流川に沿って走る村道は、神社やお寺、個人商店等の昔ながらの集落の風景が楽しめます。山と川の間を縫うように通っているので、上野村の豊かな自然も同時に満喫することができます。観光施設をめぐるのもよし、飲食店を巡って食を楽しむもよし、心地よい運動とともに、上野村を楽しんでみてください。

■ 上野村サイクルツーリズムについて

自転車観光として2011年～2014年まで「上野村ヒルクライム」、2018年には「ライドハンターズ in 上野村」といった数百人規模のイベント開催のほか、小規模のサイクリングツアーを随時開催しています。

村内は信号がほぼなく、四方に峠道もあり自転車ツーリングに適した場所です。コロナ禍で自転車が見直されている昨今、アウトドアアクティビティとしてサイクルツーリズムはさらなる発展が見込めます。

今回開始したレンタサイクル事業を活用することで、今後も上野村サイクルツーリズムの拡大を図っていく予定です。





ファイナル「花と緑のぐんまづくり2021 in 桐生 ～ふるさとキラキラフェスティバル～」

桐生市 公園緑地課・群馬県 都市計画課

令和3年4月24日から5月23日まで、桐生市市制施行100周年記念事業の「花と緑のぐんまづくり2021 in 桐生～ふるさとキラキラフェスティバル～」が、開催されました。『市制施行100周年、あしたの緑をいまつくろう』を大きなテーマに掲げ、人と人、民と公、地域と地域、さまざまなつながりの中で“桐生人”が培ってきた100年のバトンを、次の100年につなぐためのきっかけづくりができました。

今回は、桐生市新川公園をメイン会場とし、遊園地や動物園など、市内各所をたくさんのお花で飾り、1か月間、花でいっぱいになりました。

新川公園には、「つむぐ庭」をコンセプトとし、繊維産業のまち桐生を象徴する3本の糸の形をした大規模花壇を設置しました。約18,000本の花が次々と咲いていき、来るたびに違う景色に出会い、特別実施した帯の滝を背景に、花と緑と水のハーモニーで来場者をお迎えしました。

メイン会場では花壇のほかにも、子どもダンスチームの演舞や和太鼓の演奏などのステージ、消防車両の公開や訓練の実演などを実施した消防フェスタなど、さまざまなメニューをお楽しみいただきました。

サテライト会場は飾花のほか、さまざまにコラボレーションしたイベントを開催しました。動物園ではキーパーズトークとクイズラリー、有鄰館では毎年恒例の「有鄰館まつり」とテーマ連携し、市内高等学校の繊維関連学科の生徒による作品展示、遊園地は開園50周年記念事業として昔の写真を公募する「なつかし写真」を共同開催しました。どのイベントも、来て見て楽しみながら、桐生のまちで新しい発見をしていただけるものでした。

また、メイン会場・サテライト会場だけでなく、市内の“イトコ”を隔々までめぐって頂くため、スマホひとつで参加できるモバイルラリーを実施しました。

感染症拡大防止のため、5月4日からは残念ながら一部イベントは中止となりましたが、花壇設置やモバイルラリーは継続実施し、困難な状況下でも来場者・参加者のみなさん一人ひとりが対策を実施し、それぞれに楽しんでいただくというスタイルで花緑観賞、まちあるきを通した桐生の魅力発信ができました。

ふるさとキラキラフェスティバルは、100周年という節目の年に、あらためて“つながり”を感じ、その大切さに気付けた事業になったと考えております。協力・参加いただいた皆様との、そして皆様同士の新しいつながり、より強固になったつながりが、これからの桐生の礎となっていくことを希っております。



メイン花壇全景

※ 2009年から始まった「花と緑のぐんまづくり～ふるさとキラキラフェスティバル～」は今回の桐生開催をもって終了しました。



市民参加の花壇づくり



市民参加の花壇づくり



花と緑のコンテスト



学生たちの力強い太鼓演奏



桐生産の花々が会場を彩る



子供たちも楽しいメニュー





新桐生駅 駅前広場整備が完成しました

群馬県 都市計画課

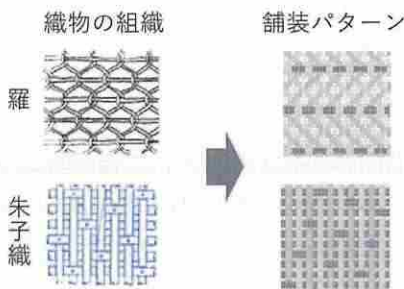
■ 駅前広場整備について

新桐生駅(東武桐生線)は、首都圏からのまちの玄関口として重要な駅であることから、他の交通手段との連携がとれた環境整備が望まれています。

本事業では、現在の駅前の敷地を拡張し、外周部への歩道整備や区画線による車両の通行部分の明示を行うことにより、自動車・歩行者動線を明確にし、誰でも安心安全に利用出来る広場整備を行いました。

バリアフリー整備としては、身体障害者用スペースの設置や乗合自動車停留所へのベンチ及び上屋の設置等を行いました。

また、新桐生駅へのアクセス道路である新桐生停車場線については、両側歩道整備に加え、路肩を広く整備することで、車道内に自転車が安全に走行できる通行空間を整備しました。



駅前広場歩道舗装イメージ図



完成した駅前広場



駅前広場歩道舗装

■ 駅前広場の舗装・照明デザインと植栽について

駅の出入り口には桐生市の象徴である「のこぎり屋根」の工場をかたどった舗装を採用しました。駅前広場とアクセス道路の歩道舗装には、桐生の町を支えてきた伝統文化と市外の文化のあらたな出会いを期待させる街の玄関口として、桐生市の主要産業である織物をイメージした舗装デザインにしました。

照明については、必要な照度を確保しつつ、歩行性能照明(平場、段差の認識)、誘導照明(曲がり角等の空間認識)、危険予測照明(車が事故を起こしにくくするための危険予知を促す照明)を実施し、駅広利用者の安全安心を確保する照明景観設計にしました。

植栽については、ワークショップを行って地元の皆さんの意見を伺い、それらを加味して計画しました。ロータリーの真ん中には、キンモクセイを植樹し、歩道内については、白い花を咲かせるヤマボウシとエゴノキを植樹します。タクシープールと一般送迎周辺、アクセス道路部分の植栽は、車の視界を遮らない低木の寄植えとし、一つが桜並木から続くオオムラサキツツジ、もう一つはキリシマツツジを植樹します。



のこぎり屋根舗装デザイン



夜間照明の様子

■ 最後に

駅前広場が整備されることにより、安全な駅の利用はもちろん、地域の賑わいや住民の交流の活性化、まちの活性化へつながることも期待します。事業にご協力いただきました地元住民、鉄道利用者及び関係機関の皆様にご場を借りて感謝申し上げます。





マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「マーケットでまちを変える 人が集まる公共空間のつくり方」 著:鈴木美央



今号のおすすめ
ライブラリーは
こちら!



近年、食の安全、中心市街地の活性化、公共空間の活用などといった、暮らしや都市を再生する社会的ニーズの高まりにより、マーケットがその解決策として注目を浴びています。また、これまでの行政や企業主導のトップダウンの手法ではなく、使い手主導のボトムアップの手法が求められるようになりました。現在、マーケットは、まちの魅力を発見することから始まり、それを編集し、発信し、共有する場として、新しいまちの使い方を実践する手法の一つになっています。本書では、生活者、研究者、実践者としてマーケットに関わってきた経験、建築家としてまちをつかってきた経験をもつ著者からの「マーケットでまちは変えられる」という強いメッセージが伝わってきます。

マーケットは、イベントとして捉えられがちですが、マーケットがまちにもたらす効果は、日常を豊かにする可能性が秘められています。全国の事例とともに必要な手続き(現状の課題も含めて)が紹介されているため、何をしたら良いかわからない、という方にもおすすめです。ぜひ、皆さんにも読んでいただきたいです。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

館林市 坂上 直也



坂上 直也さん



講座の様子

堀口さん、田中さん、吉田さん、梅内さん、片岡さん、皆様お元気ですか?

令和元年度「魅力あるまちづくりのパートナーネットワーク講座」に参加し、ファシリテーターの称号をいただきました。ファシリテーターとは、会議などの司会やリーダーとは少し違い、参加者に発言を促し、話の流れをまとめ上げ、共通認識を図り、着地点へ上手く誘導させる調整役を指します。講座ではたくさんのワークショップを行い、研修地であった甘楽町を実

際にまち歩きし、魅力発信のための演習も行いました。

私はこの講座を通じ、ファシリテーターだけでなく、同じ行政等で働く皆様と親睦を深められたことが大きな財産になりました。事業を進めていくうえで、これまで以上に市民参画が重要視され、協同してまちづくりをしていく必要があります。この講座で学んだファシリテーターの技術を役立て、より一層業務に努めていきたいと思っております。最後に、ここで出会った縁を大切に、いつかまた皆様とお会いできる日を楽しみにしています。

※パートナーネットワーク講座は令和元年度で終了しました。

マーチィの掲示板 『ドボクリップ ～私がキリトル土木の未来～』

建設企画課

群馬県が企画・提供するテレビ番組『ドボクリップ ～私がキリトル土木の未来～』を令和3年4月から群馬テレビで放送しています。

番組では、「キリトリスト」と呼ばれる人気女性モデルが、これから建設業に入職する高校生や若い世代に興味を持ってもらうため、土木施設の外観美と、そこにまつわる人々の思いを写真で切り取り、その写真を紐解くことで土木施設の新たな魅力を発見しお伝えします。

番組を通して、建設産業の「誇り」、「魅力」、「やりがい」の向上、「社会資本の整備と維持管理の担い手」、「地域の安全・安心の守り手」としての「役割」を情報発信します。

■群馬テレビで放送

毎月最終金曜日 19:45~20:00(15分番組)

(再放送 2日後の日曜日 18:45~19:00)

■企画・提供:群馬県 提供:群馬県建設技術センター

協力:群馬県建設業協会

協賛:土木学会関東支部群馬会、群馬県測量設計業協会、群馬県交通安全施設業共同組合、群馬県建設技術協会



※新型コロナウイルスの影響により開催中止、延期場合があります。予めご了承ください。

岩宿探検隊(夏休み体験学習教室) 「石器作り・まが玉作り」

昔の人が使っていた石器やまが玉を作ってみよう！(要予約・有料)

■①7月31日(土)②8月7日(土)
各日 石器づくり:午前 まが玉作り:午後
■ふれあい学習館(岩宿博物館第一駐車場敷地内)
【お問い合わせ先】
みどり市岩宿博物館
Tel. 0277-76-1701



両毛線沿線のほほんいろどりトリップ 「フォトコンテスト」と「和のワークショップ」

両毛線沿線の6市でフォトコンテストを開催。ワークショップは要予約。
https://www.jreast.co.jp/takasaki/nchohonirodori_2021/
■フォトコンテストは9月30日(木)まで。各市へご確認ください。
■ワークショップは各市で異なりますので、各市へご確認ください。
【お問い合わせ先】
両毛線沿線のほほん連絡協議会
Tel. 0277-46-1111
(桐生市観光交流課)



いろどりみどりフォトコンテスト2021

みどり市内で撮影した「風景・鉄道・食・人」の写真を、Instagramに投稿して応募。
【お問い合わせ先】
みどり市産業観光部観光課
Tel. 0277-76-1270



館林美術館 地域参加イベント 「館林バトン」


館林美術館で秋に開催する展覧会「たてびレポート」出展作家の星素子さんによるイベント「館林バトン」を、館林市内の各施設で開催します。日本遺産に認定された「里沼」をイメージする漢字一文字を、未来に手渡したい「バトン」に見立てた紙のロール芯にかいてください。施設に設置した収集BOXに投函することで参加できます。開催施設などの詳細はホームページをご覧ください。
■5月15日(土)～9月5日(日)
■館林市文化会館ほか、館林市内の約10ヶ所
【お問い合わせ先】
館林美術館
Tel. 0276-72-8188





設置の様子(館林市第二資料館)


まえばしシェアサイクル cogbe(コグベ)

令和3年4月からスタートした「まえばしシェアサイクル cogbe(コグベ)」は、自転車を「漕ぐ」と、群馬の方言でlet'sの意味でつかわれる「べ」を合わせて、「楽しく自転車を漕ごう!」という意味を込めて、名づけられました。cogbe(コグベ)は、128台の電動アシスト自転車と、前橋駅を起点とした市内30か所に、自転車の貸出と返却が可能なポートを設置して、どのポートでも自転車の貸出と返却ができるサービスです。
利用方法はとてもシンプルで、スマートフォンアプリ「ecobike」をダウンロードし、「利用登録」をします。登録内容は、氏名、性別、生年月日、連絡先、決済情報の登録と利用地域を選択するだけとシンプルです。登録の流れを動画にしたものも公開しているので、是非参考にしてください!
今後は、公共交通の一つとして、前橋版MaaSの「MaeMaaS」と連携した、新たなサービスを展開していく予定です。どうぞご期待ください。

▶利用登録動画はコチラ 

▶サービス内容はコチラ 

▶アプリのダウンロードはコチラ 



自転車の交通ルールを確認しましょう!

子どもから高齢者まで幅広い世代で利用される便利な自転車ですが、一方で交通ルールやマナーを守らない運転による事故が多く発生しています。群馬県では、自転車を安全に利用していただくために「群馬県交通安全条例」を令和3年4月1日に改正しました。この機会に交通ルールを再確認して安全に利用しましょう。

■「群馬県交通安全条例」改正のポイント

- ①自転車保険加入が義務に
- ②ヘルメット着用が努力義務に
- みんなで自転車のルールを再確認しましょう

●車道は、左側を通行 右側通行は禁止

●自転車は歩道を通行できるのは

- ①道路標識や道路標示で指定された場合
- ②運転者が13歳未満の子ども、70歳以上の高齢者、身体の不自由な方
- ③車道や交通の状況から見て、やむを得ない場合

●このマークを知っていますか? 矢羽根型路面表示

車道での自転車が通行する場所と向きの目安を記した表示です。事故を防ぐため、自転車に乗る人は表示に従って走りましょう。

県は自転車道などを整備中です。表示を目安に走りましょう!

条例の詳細は県HPをご覧ください。
【お問い合わせ先】
群馬県道路管理課
027-226-2388



帝京大学 経済学部 観光経営学科

Faculty of Economics, Department of Tourism Management

幅広い教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識と行動力をお互に育ちあわせ人材を育成します。

- ・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- ・旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- ・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

八王子キャンパス オープンキャンパス 2021 日程

7月11日(日)	8月9日(月・振休)	10日(火)
8月9日(日)	9月19日(日)	


●完全事前予約制
●詳細はホームページをご覧ください。

八王子キャンパス広報グループ 〒192-0395 東京都八王子市大塚 359
お問い合わせ先 TEL: 0120-508-739 URL: http://www.teikyo-u.ac.jp/

まち'sクリの独り言

みんな、毎日暑い日が続くけど、元気クリか? ビールが美味しい時期になったクリね。まち'sクリは、旅行や登山に行った時に、ご当地のクラフトビールをお土産に買うのが楽しみなんだけど、県内にもいっぱいあるんだクリね。ビックリクリ。

ちょっと前に、近所を散歩していたら、クラフトビールのお店があることを知ったクリよ。さらに、美容院のねえさんから、新規のお店が近くにオープンする情報もゲットしたクリ。酒税法の関係で醸造するのが大変と聞いたけど、お出かけの時に味わうビールは、格別だクリ。「あの時あの場所で飲んだ味♥」としてまち'sクリの頭の中に残るクリよ。今年の夏は、「まちあるき+クラフトビール」をテーマに、県内各地をテクテクしてみたいクリ。みんなも、暑さやコロナに負けず、夏を楽しむクリよ〜。



有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。